

火山防災トップシティ 鹿児島市

～大規模噴火に備えた火山防災対策～

避難完了板を活用した桜島住民主体の避難訓練

52回目となる桜島火山爆発総合防災訓練において、以下のとおり、避難完了板を活用した桜島住民主体の避難訓練を実施しました。

来年度の訓練において、避難完了板の活用地域をさらに広げて検証し、より実効性の高い避難計画に改訂する予定としています。

I 住民避難訓練の概要

- 日時
令和3年11月20日(土)午前8時30分～12時00分
- 実施場所
桜島全域、桜島港フェリーターミナル、南栄リース桜島アリーナ
- 主な訓練
 - 桜島火山防災連絡会の開催による住民避難要領の共有及び必要な処置対策の実施
 - 「避難完了板」を活用した住民主体の避難訓練
 - 避難確保計画に基づく避難促進施設（観光施設）の避難訓練
 - 防災関係機関等による自助・共助で対応困難な要支援者・残留者等の避難支援及び捜索・救助（ヘリ、巡視艇、装甲車等の活用）
 - 体育館での島内・島外避難計画の説明及び体験喫食
- 参加団体・参加者数
関係機関等68団体・参加者数約2,000人



II 訓練のコンセプト

～「大規模噴火を想定したタイムラインに基づく、避難完了板を活用した桜島住民主体の避難訓練」～

【地域での取組】

- タイムラインに基づき、町内会（自主防）、民生委員及び消防団等の連携による「避難完了板」を活用した住民主体の避難訓練



【避難促進施設での取組】

- 避難確保計画を踏まえたタイムラインに基づき、避難促進施設と施設所管課が連携した観光客の避難誘導及び施設閉鎖



【防災関係機関の取組】

- 防災関係機関等による、自助、共助で対応困難な要支援者等の避難支援（ヘリ、巡視艇、装甲車等の活用）



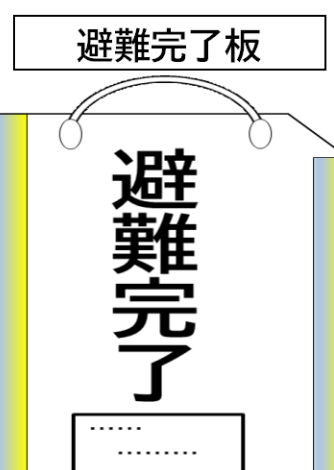
III 本想定における桜島住民避難訓練の流れ

時間	噴火警戒レベル	全体想定 防災関係機関	住民主体の避難		避難促進施設 （観光施設）
			マイカー避難	バス避難	
08:30 ～ 09:30	4 (3km)	注意喚起放送(全島) 【想定:11/19】 ・島内避難訓練の実施 ・火山防災連絡会開催	要支援者の避難支援に関する3者調整会議 【各町内会(公民館)】	・バス確保に関する調整 ・避難用バスの移動開始 【災対本部】	避難確保計画に基づく各種調整 【各施設】
09:30 ～ 10:30	4 (全島)	高齢者等避難発令(全島) ・公助による要支援者等の避難支援 ・避難促進施設における急患等の避難支援等(DMAT、ヘリ)	・共助による要支援者等の避難支援 ・マイカー避難開始	・高齢者等避難発令時のバス運行開始	・各避難促進施設での観光客の避難誘導及び施設閉鎖 ・急患搬送
10:30 ～ 11:15	5 (全島)	避難指示(全島) ・消防、警察、海保、自衛隊等による残留者救助等(巡視艇、装甲車等)	・南栄リース桜島アリーナで動画による避難行動の説明及び体験喫食	・避難指示発令時のバス運行開始	・南栄リース桜島アリーナで動画による避難行動の説明及び体験喫食
11:15 ～ 12:00		・関係機関等の撤収	訓練終了	・南栄リース桜島アリーナで動画による避難行動の説明及び体験喫食 訓練終了	訓練終了

IV 避難完了板を活用した住民避難要領

避難完了板の活用

これまで、避難状況の確認に使用していた「避難用家族カード」に代えて、今年度の訓練において「避難完了板」を使用し、検証を行う。



住民一覧表

町内会	氏名	性別	年齢	住所	電話番号	備考
1	山根	男	100	1	00-1234-5678	
2	山根	女	100	1	00-1234-5678	
3	山根	男	101	4	00-1234-5678	

住民一覧表

町内会	氏名	性別	年齢	住所	電話番号	備考
1	山根	男	100	1	00-1234-5678	
2	山根	女	100	1	00-1234-5678	
3	山根	男	101	4	00-1234-5678	

効果

- 町内会長等による避難用家族カードの受領が無くなり、負担軽減に繋がる。
- 住民は「避難完了板」を掲示するのみで避難できるため、迅速に避難できる。
- 消防機関の全戸訪問時に避難状況が容易に把握でき、活動時間の短縮に繋がる。

【避難完了板を活用した避難確認フロー】

災害対策本部
(現地本部)

高齢者等避難
又は
避難指示
の発令

住民

避難完了板を玄関に掲出し、マイカーやバスによる避難開始



消防団

戸別訪問時に避難完了板が掲出されていれば簡易確認、掲出されていなければ声掛けや施錠の有無・裏口の確認等を実施



地域ごとの避難状況を報告